
下書き 本の役割（一）

スクリブラー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

下書き 本の役割（一）

【Nコード】

N7145L

【作者名】

スクリプラー

【あらすじ】

下書き あらすじって言われても…

本はこの世界において三つの役割のうちどれか一つを与えられています。

つまり、歴史（この中には、過去だけでなく未来に関することも含まれています）を遺すこと、著者の心の中にあるものの一部を記憶すること、多種多様な事柄の案内板となる事です。

やはり中には例外と呼べるものもありますが、大体の本はこれらのうちどれか一つの要素を有しています。

そしてこれらの他に、その全ての奥底に存在し、ありとあらゆる本に共通する書物の本質と呼ぶべきものがあります。

それは、記号を使い、誰かにその内容を伝えるという役割です。

これは絶対的なもので、これがないのならばそれは本とは呼べないでしょう。

たとえばノートブック。

誰かに見せるつもりはなくとも、その内容は自分が自分にその時に在ったものを伝えるために書いているわけですし、それを読むつもりが無かったとしても、紙に書いたその瞬間に、それは伝えるという役割を果たして本になっています。

本は今、紙とインキから光と電波へとその媒体を変えています。

徐々にですが、三つの役割のどれも持たないものも増えてきます。

しかし、たとえ何が変わろうと、この本質だけは決して変わることはないでしょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7145/>

下書き 本の役割（一）

2010年10月10日05時13分発行